

会 議 録

会議の名称	市民の皆様との意見交換会～今後のごみ焼却施設について～【第1回】
開催日時	平成30年10月16日（火）午後7時00分～午後8時00分
開催場所	東村山市秋水園ふれあいセンター 大集会室
出席者 及び欠席者	●出席者： （理事者） 渡部尚市長 （東村山市） 大西資源循環部長、肥沼資源循環部次長、 武田施設課長、濱田施設課長補佐、井上施設課計画係長
参加者数	4名
意見交換 記録	
<p>19時40分 意見交換開始</p> <p>質疑応答1</p> <p>○発言者（秋津町：住民1）</p> <p>もう50年以上にわたってここに焼却施設があるため、ほかのところに変わってもいいのではないかと思います。また、所沢の地域の人たちにも、迷惑をかけてきていると思います。そのようなことを考えると、ほかの土地を選んでほしかったです。いろいろ事情はあるだろうが、20年以上前からごみ問題に関し検討されていた経緯があるため、その当時から用地探しを行っていたら、ここに来てバタバタすることはなかったと思います。市の端に焼却施設があるということは、収集コストにかなり無駄があると思います。市の中心に焼却施設がある方が収集コストも安くなり、市民の皆様に関心がもう少しごみに向けてもらえるのではないかと思います。市の端にあることで、同じ市内に住んでいる人であるそこはごみための町だと言う方もおられます。自分が出したごみがどこでどのように処理されているのかわからないような状況は、不公平です。その辺りはもう少し市がPR等を進めてほしいと思います。</p> <p>ごみの減量については、ディスプレイ等を利用できないのか、生ごみの量を減らすことができれば、焼却炉は小さくできると思うのですが、そのような検討は行ったのでしょうか。</p> <p>平成29年度の焼却ごみの量を教えてほしいです。</p> <p>○東村山市 平成29年度実績については、燃やせるごみは23,633t/年、燃やせないごみは1,980t/年、粗大ごみについては1,406t/年、資源ごみは11,368t/年となり、合計は38,387t/年となっております。なお、粗大ごみから出る燃やせるごみは含まれておりません。</p>	

○発言者（秋津町：住民1）

人口が減っていくことに対し、可燃ごみの想定量が平成 29 年度実績と同じ程度になる計算でしょうか。

○東村山市 平成 28 年度と平成 29 年度を比較すると、平成 28 年度は燃やせるごみが 23,985t/年、平成 29 年度は 23,633t/年であり、約 300t/年程度減少しております。

○発言者（秋津町：住民1）

毎年このように減っていくと考えられるのでしょうか。

○東村山市 現行の一般廃棄物処理基本計画を参考に算出したものです。減量の取り組みは、当然これまでも行っており、平成 28 年度と平成 29 年度の実績では 300t/年の減になっているところですよ。

今回ディスポーザーについて具体的には検討していないが、当然汚泥の処分や下水にかかる負荷などに関係する事項であり、市の他の施策との関連もあるため、御意見として承ります。

○発言者（秋津町：住民1）

ぜひ検討をお願いします。

質疑応答 2

○発言者（秋津町：住民2）

武蔵野市が良い例で、市役所の隣に処理場があります。東村山市も市役所の隣に公園があるため、建て替えるならあそこへ最新式のものをつくってはどうかと思います。

もう一つは、皆さんごみと言うが、何も一つもごみではないです。まぜるからごみになります。一つ一つが全部資源です。私は、全部仕分けしており収集車へ出したことはないです。ごみとして考えているその考え方を変えなければいけません。市役所の皆さんに知恵を絞っていただきたいです。

○東村山市 御意見ありがとうございます。

質疑応答 3

○発言者（秋津町：住民1）

所沢の方たち向けの意見交換会を行う予定はあるのでしょうか。

○東村山市 あり方検討会の委員として、北秋津町第9連合会から代表に出させていただいております。

ます。また、当市の取り組みについては所沢市役所の環境部局に情報を提供しています。今回の意見交換についても、全 10 回の開催の中で、秋津町において 4 回開催する旨を伝えていきます。

質疑応答 4

○発言者（秋津町：住民 1）

少し離れた地域の方の場合、全然ごみには関心のない方が非常に多いです。

○東村山市 分別すれば資源になるとの御意見について、これまで取り組みとして、リサイクルセンターの中で瓶、缶をリサイクルしています。市民の皆さんに対してどのぐらいのレベル感で分別を求めるところはあるかと思いますが、引き続きごみ減量の取り組み、あるいは皆さんで御協力していただける範囲については、今後、一般廃棄物処理基本計画を見直す際に、改めて検証できるのではないかと考えているため、御理解をお願いしたいと思います。

質疑応答 5

○発言者（秋津町：住民 1）

東京都のハザードマップでは、この辺は水没地帯になっています。水没地帯に新しい施設を造っていいのか市長に伺いたいです。

○市長 御指摘のように、ハザードマップで秋水園は水没エリアであることは承知していますが、過去これまで秋水園が浸水した実績ありません。また、今後、具体的に施設検討する中で、いろいろ御不満、御意見をいただいておりますが、現状では市内では秋水園以外になかなか用地確保は難しいと考えております。今後最終的に秋水園で次のごみ焼却施設を造ることになれば、当然水害、地震等も考えた中で検討するということになります。先ほど説明があったように、災害廃棄物の処理等も考慮することになるため、災害時に真っ先に水没したり、地震で壊れてしまったりということでは、15 万市民の皆さんの役に立たないので、十分に検討していきたいと考えております。

○発言者（秋津町：住民 1） 今までなかったとしても、今の世の中あちこちで災害が起きているため、もう少し慎重に考えたほうがいいのではないかと思います。ここを災害時のごみ処理の拠点にするのであれば、なおさらです。ここが浸水した場合、ごみ処理施設を利用できなくなるため、もう少し慎重に考えていただきたいです。

○市長 御意見として承り、今後の検討とさせていただきたいと思います。

質疑応答 6

○発言者（秋津町：住民 2）

先日も一軒、浸水した家がありました。あふれるのは当たり前だと思います。

○東村山市

本日いただいた御意見は市で整理し、今後の基本方針の策定に向けて参考とさせていただければと思います。

質疑応答 7

○発言者（秋津町：住民 2）

秋水園周辺に、道路を新たに作ることはできるのでしょうか。

○東村山市 道路を直ちに設けることは難しいですが、ご意見として承ります。

○発言者（秋津町：住民 2）

一日あたり何台程度の車両が通行しているのでしょうか。

○東村山市 稼働日が 250 日程度とした場合の平均で、1 日約 70 台の車両の往来があります。秋水園が現在操業している中で、できるだけ皆さんに御迷惑のかからないよう、大型車両の通行に関しては、子供たちの通学時間帯にかからない時間ということで、7 時半には秋水園の中に入り、灰や燃やせないごみなどを積み込んだ後に秋水園を出るのは 8 時半以降の出発にするという配慮をしております。制限速度に関しては、市内全域で守って走行している中で、騒音等でなるべく御迷惑のかからないように取り組んでいるところでございます。

○発言者（秋津町：住民 1）

1 日 70 台というのは、持ち込みの車両も含んでいるのですか。

○東村山市 今申し上げた 70 台というのは、行政回収のパッカー車のみになり、個人の持ち込みの車両台数は含まれておりません。持ち込みの台数は、平成 29 年度で 1 日平均 93 台程度となっております。過去の傾向では、1 日平均で 80 台～90 台程度でございます。

20 時 00 分 意見交換終了